



暮らしのたより



6月の保健だより

◎問い合わせ 保健婦人センター

☎64-8992・8993

☆乳児相談

該当児 63年8月と平成元年2月生まれ

☆離乳食講習会

該当者 生後2~5ヵ月の赤ちゃんを持つ母親や祖母

☆1歳6ヵ月児健康診査

該当児 62年11月生まれ

☆むし歯予防教室

該当児 1歳6ヵ月~3歳の幼児

☆3歳児健康診査

該当児 61年5月生まれ

ツベルクリン反応検査とBCG接種

実施期間 6月21日(水)~7月12日(水)

予備日 7月17日(月)

対象 ●昭和62年6月1日~63年5月31日までに生まれた幼児。 ●昭和62年5月31日までに生まれた満4歳に達しない幼児で、次に該当する者。(1)ツベルクリン反応検査を受けたことのない幼児。(2)ツベルクリン反応検査の結果、陰性でBCG接種を受けていない幼児、及び陽性・疑陽性で再検査を希望する幼児。

※ツベルクリン反応検査接種券のない人やBCGの間診票のない人は、母子健康手帳のほかに印鑑を持参してください。

日時、会場は健康カレンダーをごらんください。

6月の献血

日	場所	時間
3日(出)	伝法公民館	9:30~12:00
"	吉原公民館	13:00~15:30
10日(出)	スーパーキミサワ前	13:00~15:30
15日(木)	市役所西口	9:30~15:30
24日(出)	富士駅前	10:00~16:00

40歳総合健診

人生80年時代。その折り返し点である40歳を迎える皆さんに、自分の健康を見つめ直す機会にしてもらおうと行う健康診査です。

対象 昭和24年4月1日~25年3月31日までに生まれた人。

内容 成人病基本健診、がん検診、胸部検診

実施時期 9月下旬~11月上旬

会場 保健婦人センター

健診料 男 4,000円 女 5,500円

※申し込みは、後日富士環境衛生自治推進協会(町内会長、区長)を通して行います。

※この健診を受ける人は、市が実施し

ている他の健(検)診を受ける必要はありません。

問い合わせ

保健婦人センター ☎64-8992

犬・猫の引取日

飼えなくなった犬、猫の回収作業は各会場15分間です。当日は愛犬手帳をお持ちください。なお、飼えなくなって出した犬、猫はお返してできませんので御注意ください。また、野良猫の捕獲、引き取りはいたしません。

◇6月2日(金)、16日(金)、30日(金)

田子浦公民館9:00、富士公民館9:30

◇6月9日(金)、23日(金)

吉永公民館9:00、市立体育館9:30、広見公民館10:00、大淵公民館10:30、鷹岡公民館12:00

歯の衛生週間

6月4日~10日

☆主な行事(会場 パピー4階)

6月2日~6日

・市内小・中学生図画・ポスター展示

6月3日

・優秀図画・ポスター表彰式

・母と子・生徒のよい歯表彰式

6月4日

・歯みがき教室・フッ素塗布(無料)

☆講演会(会場 保健婦人センター)

6月10日 13:30~15:00

・テーマ「歯を強くして賢い元気な子に」

健康コーナー

痛風



以前から、特殊な食事をするお相手さんに痛風が多いことは知られていました。ところが、最近は飽食の時代と言われるように食物に恵まれ、ビールやお酒がすぐ手に入るなどから、痛風にかかる人がふえてきました。

痛風は尿酸が血液中に増加し、主に足の親指のつけ根の関節に結晶となって沈着し、関節炎を起こすものです。患部は桃色に大きく膨れあが

り、風が当たっても痛いほどです(痛風発作)。中年の男性に多く、女性には非常に少ない傾向にあります。

治療は血液中にふえた尿酸を薬で正常な値にコントロールすることです。

食事で注意することは、尿酸の元になるプリン体を含む食物を避けることです。肉や臓物類、大豆などにはプリン体が多く、野菜や米穀類は少ない方に属します。

痛風の発作がおさまると、病気が治ったと思い治療をやめてしまう人がいますが、これは間違いです。尿酸値を高いままに放置すると、発作と発作の間隔が短くなり、やがて腎臓の障害や尿路の結石症を引き起こし、心筋や脳血管の障害を生じたりします。

原因についても食事ばかりでなく、尿酸の代謝異常や、腎機能低下の場合や腫瘍によるもの、ある種の薬剤によるものなどがありますので、医師の指導を受けることが大切です。

〈富士市医師会〉

レター通信

水ぼうそう、おたふくかぜは、依然として横ばい状態のまま続いています。7月ころまではふえ続けると思います。また、2月ころより風疹やはしかも散発しています。人込みは避けて遊びましょう。